

講演会テーマ

日本の社会保障の特徴

～皆保険・皆年金の意義と課題～

国民皆保険・皆年金実現から半世紀

世界のなかでも早い時期である半世紀前に、日本において、国民皆保険・皆年金が実現しました。今日、社会保障制度改革が活発に論議され、そのあり方が問われています。社会保障の理論と現実の両面に熟知され、当該分野でご活躍されている専門家をお招きし、非正規労働者を対象に生まれた皆年金・皆保険の今日における意義について、講演会を開催します。

講師

一圓 光彌 氏

(関西大学 政策創造学部教授 (名誉教授))

日時

10月11日 (木) 5時限目 (16:20～17:50)

場所

1号館2階 S201教室

* 聴講自由 (どなたでもご自由に参加できます)

講師紹介

<略歴>

1981年 関西大学経済学部助教授

1985年 関西大学経済学部教授

2007年 関西大学政策創造学部教授 (2010年名誉教授)

<業績>

○主要著書

一圓光彌『自ら築く福祉－普遍的な社会保障をもとめて』, 大蔵省印刷局, 1996年

一圓光彌編著『社会保障の制度と行財政』, 有斐閣, 2002年

一圓光彌編著『福祉財政論』, 有斐閣, 2002年

一圓光彌『社会保障論(第6版)』, 誠信書房, 2005年. 他多数

○主要論文

「総合医制度の定着に向けて」『生活経済政策』No.156, 2010年1月

「皆保険の意義と今後の課題」『週刊社会保障』No.2610, 2011年1月

「皆年金の意義と年金政策の課題」『季刊社会保障研究』Vol.47 No.3, 2011年

他多数

お問い合わせ窓口

経済学部事務室

☎092-673-5290

当講演会担当: 益村・萱沼